

あの頃の松井田

～松井田町 昭和そして平成へ～

を行います

ゆうあい館では昭和の時代のふるさとの姿を学び、過ぎ去った時代を懐かしみながら、貴重な当時の知恵も共有し、ふるさとの未来づくりを想う講座に取り組んでいます。

今回は、昭和の証を題材とした事業の一つとして、旧松井田町の当時の状況についてお話しいただきます。当時の松井田町役場で、企画・財政・総務課長などを歴任し、町の運営に深くかかわってきた講師により語られるふるさとの時代の流れ。「昭和の大合併」での群馬県内合併町の第1号となった松井田町。6カ町村による合併後のふるさとづくりの様子。そして、昭和40年に国による地方財政再建団体指定を受け、9年計画での再建を進める中でも2年短縮して7年で赤字解消となったころの状況。高速道路時代の幕開けにより2つのインターチェンジと1つのサービスエリアが開設されたあの頃。そして、時代は平成へと移り、平成9年9月30日に信越本線横川軽井沢間が104年の歴史に幕を下ろして廃止に。これを受けて、鉄道文化・街道文化、峠、自然、歴史を総合的に活かした新たな街づくりを進めるべく邁進していたあの頃を語ります。今では貴重な当時の様子を知る、そんな時間を体験していただけます。

1. 日時 3月12日(木) 午前10時～正午
2. 定員 30名
3. 講師 白石敏行 氏 元松井田町職員
4. 会場 ゆうあい館 2階会議室
5. 申込み 2月18日(水)9時から電話のみ受付開始

【問い合わせ】

市民環境部市民課 ゆうあい館
Tel027-393-3537